

# 授業ナビシート（読み解く力 ver.） ○○小3年 国語科「ブックトークで『じーんとくる場面』を紹介しよう」

## ○単元で育成したい資質・能力

- 自分の心に響いた場面とそのわけを6年生に紹介するという目的をもって読書に親しむとともに、本には遠い昔の時代や見知らぬ風景に出会える魅力があることに気付くことができる。 **（知識及び技能(3)オ）**
- ◎心に響く場面とそのわけとなる登場人物の気持ちの変化や情景を、場面の移り変わりや複数の場面の叙述と結び付けながら具体的に想像することができる。 **（思考力、判断力、表現力等 C 読むことエ）**
- 自分の心に響いた場面やわけを紹介するために、見通しをもって粘り強く取り組み、学んだことを活かしながら、本の紹介を行おうとしている。 **（学びに向かう力、人間性等）**

## ○二つの側面、三つのプロセスとの関係

- 二つの側面
- A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力
  - B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力
- 三つのプロセス
- ①…発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す
  - ②…分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する
  - ③…理解・再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する
- ・同じ場面を選んだ児童で編成されたグループで話し合うことを通して、同じ場面を選んでいても理由に違いがあることに気付く。 **B 2**
  - ・グループで話し合った後、自分のワークシートを見直し、自分の考えを再構築する。 **B 3**
  - ・場面の移り変わりや複数の場面の叙述を結び付けて、登場人物の気持ちの変化や情景を具体的に想像する。 **A 2**
- ※本時の学習を通してはたらく「読み解く力」

## ○本時のめあて(付けたい力)

場面の移り変わりや複数の場面の叙述を結び付けて、登場人物の気持ちの変化や情景を具体的に想像することができる。

## ○本時の展開(児童の反応予測・思考の流れ、板書計画等)

**①見通しをもち、課題を再確認する（3分）**

- ・単元のゴールに向かって、これまでにどのような学習に取り組んでいたのかを振り返る。
- ・どのような課題があるのか、本時は何をするのかを知る。

自分なりに考えたけど本当にこれでいいのかな。みんなはどうなんだろう。

**②めあてをもつ（2分）**

わたしの「じーんとくる場面」をしようかいるために、一番ぴったりくるわけは何だろう。

**③グループで共に学び合う（15分）**

- ・全文シートの「じーんとくる場面」が記載されている部分に記名した付箋を貼る。
- ・「一番じーんとくる場面」とそう考えた「わけ」について、同じ場面を選んだ児童同士のグループで話し合う。

Aさん  
Bさん  
Cさん

**④自分で考える（7分）**

- ・自分が考えた「わけ」を再考し、まとめる。

私が一番「じーん」ときたのは、第4場面の「こうして、小さな女の子の命が…」のところ。わけは、その2行前に「ちいちゃんは、きらきらわらいました」って書いてあって、幸せになったのかと思ったら、実は死んでしまったということが分かって悲しかったからです。

僕も「じーんときた場面」は4場面のAさんと同じところだけど、わけは逆で、ちいちゃんは死んじゃって悲しいんだけど、家族がいるところに行けてよかった、これで一人ぼっちじゃなくなって、よかったと思えたからです。

私の「じーんときた場面」は4場面だけ別々のところで、ちいちゃんが一人でかけおくりを始めると、お父さん、お母さん、お兄ちゃんの声が重なってくるんです。わけはBさんと同じで一人ぼっちじゃなくなって思えたからです。

同じところを選んでいるのに、わけが違ったり、違うところを選んでいるのにわけが同じだったりするんだ。いろんな場面からわけを見つけてまとめたいな。どのわけを使ってまとめようかな。

**⑤全体で共に学び合う（13分）**

- ・再構築したことを共有する。

僕が一番「じーん」ときたのは、第4場面の「こうして、小さな女の子の命が…」のところ。さっき話し合いをするまでは、その2行前に「ちいちゃんは、きらきらわらいました」って書いてあって、幸せになったのかと思っていました。だけど、この叙述から、実は死んでしまったことが分かることに気が付きました。そして、1場面のかけおくりと比べると…

**⑥学習を振り返る（5分）**

- ・めあてに立ち返って、本時で考えたことや解決できたことを自分の言葉でまとめる。次時の見通しをもつ。

はじめに考えていたわけと比べると、違う場面からも考えられて、とてもよくなったと思うよ。あらすじとか組み合わせで、みんなに伝わりやすいブックトークをしたいな。

課題発見・解決のプロセス 課題を見つける ≫ 見通しをもつ ≫ 自分で考える ≫ 共に学び合う ≫ 学習をまとめる ≫ 学習を振り返る ≫ 新たな課題を見つける

※課題発見・解決のプロセスに示された視点は、「平成30年度学校教育の指針」(滋賀県教育委員会)で示されているものです。児童の実態や育成したい資質・能力、単元における本時の位置付け等に合わせて順序を入れ替えるなどして、ご活用ください。